

# 平成 29 年度 茨木市バリアフリー基本構想協議会 議事録

## 1 日 時

平成 30 年 2 月 27 日（火） 14 時 00 分～16 時 00 分

## 2 場 所

市役所南館 8 階 中会議室

## 3 出 席 者

別紙出席者名簿のとおり

## 4 欠 席 者

野口委員、白石委員

松尾委員 【代理】小谷（西日本旅客鉄道株式会社近畿統括本部）

林 委員 【代理】今村（近鉄バス株式会社）

福本委員 【代理】富田（国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所）

川端委員 【代理】西山（大阪府住宅まちづくり部建築指導室）

梅野委員 【代理】中村（大阪府茨木警察署）

## 5 開催形態

公開（傍聴者 0 人）

## 6 次第及び議事の内容

### （1）開会（副市長挨拶）

### （2）議事 1：特定事業計画の提出状況について

議事 2：平成 29 年度の事業進捗と平成 30 年度の事業予定について

【事務局より、議事 1、議事 2 の内容について説明】

**(副会長)**

来年度事業予定の市道元町上泉線のカラー舗装について、スクールゾーンと区別するために色をわけ  
るのか。また、ごみ置き場周辺は歩行に支障があるのではないか。

特定事業計画について、平成 32 年という目標年次が近づいている。作成中の事業者については進捗を  
報告していただきたい。

**(事務局)**

外側線により確保した 1.0m 程度の路側帯内をカラー舗装する予定である。色については自転車通行空  
間は水色、歩行空間は緑色としている。ごみ置き場については施工時に地元と調整する。

**(委員)**

阪急総持寺駅から JR 総持寺駅までの道路整備について、生活関連経路は以前より兵庫県型の縁石での  
施工をお願いしているところだが、部分的にできていない箇所がある。JR 総持寺駅へのアクセス道路は  
デベロッパーが施工しており、基本構想策定前から着手している関係上仕方ない部分もあると思うが、  
民間事業者にも周知していただきたい。

**(事務局)**

市道総持寺駅前線については基本的に兵庫県型の縁石を使用しているが、地下構造物により物理的に  
設置できていない箇所もある。

今後、生活関連経路及び駅直近の道路整備の際は積極的に兵庫県型の縁石を使用したいと考えている。  
開発指導要綱の見直し検討も含め、民間事業者へも依頼し、考え方を統一していきたい。

**(委員)**

阪急総持寺駅前には傾斜がきついところがある。

**(事務局)**

阪急総持寺駅は傾斜のあるところに駅があり、建物の構造上仕方ない部分はあるが、部分的に対応で  
きる場所は直していく。

**(委員)**

阪急総持寺駅前の横断歩道手前に点字ブロックが設置されていないと思うがいかがか。

(事務局)

改札前の歩道改良工事に伴い、点字ブロックを設置している。

(委員)

歩道上における自転車のマナーは何とかならないか。

(事務局)

自転車のマナー向上の為、小学校、中学校、高校の安全教室や街頭キャンペーンを通して、歩道は歩行者優先という指導をしている。今後も引き続き、啓発や指導に努めたい。

(委員)

自転車レーンを走行している方は少なく、歩道を走行している人の方が多いと聞く。自転車に乗っている知人は、自転車レーンは怖くて通行できないと言っている。車道幅員が何メートル以上あれば、自転車レーンの整備が可能といった基準はあるのか。

(事務局)

細かい規定はないが、警察署と協議し、基本的には自動車がレーンを踏まなくても通行できる幅員のある車道に設置している。車も自転車が前を走行していると少しスピードを落としていると聞いているので、ルールを守っていただければ、安全になると考えている。

(委員)

自転車が車道を走るということは知っているが、側溝にタイヤをとられて転倒することも想定されので、怖くて走れない。

(会長)

全ての人が車道を走らないといけない訳ではない。茨木警察から補足はあるか。

(委員)

近年、歩道上での自転車同士、自転車と歩行者事故が大変多い。歩道を歩いている高齢者・児童にとって自転車は凶器であり、法律上軽車両にあたるため、本来は車道を走らなければならないが、車道を走行することが危険な時は、歩道を走行しても構わない。

(委員)

以前、阪急電鉄を利用した際、京都方面で人身事故があったというアナウンスが流れたことに気付かず1時間程待っていたことがあった。電光掲示板など見てわかる様に検討してほしい。

(委員)

緊急時のアナウンスが音だけになっていることは否めない。少しずつ対応していきたい。

### 【各事業者より、進捗報告】

(西日本旅客鉄道株式会社)

現在 JR 茨木駅増床工事並びにエスカレーター、トイレの改修工事を行なっている。

また、JR 総持寺駅については、3月17日のダイヤ改正時に開業予定である。

(阪急電鉄株式会社)

特定事業計画が未提出なので早急に対応したい。

駅舎の段差解消、トイレ改修は完了しており、今後さらなる充実を考えている。

案内情報の充実については、まず茨木市駅から対応したいと考えており、来年度から具体的な検討を進めたい。

(大阪高速鉄道株式会社)

国等の補助金を受けて、可動式ホーム柵の設置を進めたいと考えている。計画では来年度、南茨木駅での設置を予定している。

(大阪府茨木土木事務所)

特定事業計画は作成中のため、早急に対応する。

茨木、吹田、高槻、摂津、島本町の4市1町において、中央環状線の補修、街路樹の整備、交通安全対策など多岐に渡り対応している。今後もバリアフリー含め整備を進めていく。

(大阪府茨木警察署)

特定事業計画は作成中とあるが、現在、大阪府公安委員会が府下全体の特定事業計画を取りまとめているところであり、今年度中には提出可能である。

基本構想に記載の事業については新設の信号機1基、既設の改良3基ともに進めており、JR 茨木駅東

口の駅改良にあわせ 30 年 3 月末に新設、庄栄小学校前、東奈良小学校北交差点、東奈良三丁目交差点の既設信号機は来年度実施予定である。

**(阪急バス株式会社)**

車いすのお客様と毎年 1 回講習会を実施しており、今年は 13 名参加された。運転手等含め 45 名の参加者を 4 班に分け、実車を使った体験会を行った。今後ご協力いただいて毎年一回実施していきたい。

**(近鉄バス株式会社)**

平成 29 年 4 月よりバスロケーションサービスを開始し、各バス停に QR コードを掲示し、スマートフォンから全路線の経路、バス接近情報等の確認が可能となった。

また JR 総持寺駅開業にあわせ、阪急茨木市駅から花園東和宛に運行している路線は JR 総持寺駅も経由する予定である。

**(委員)**

信号機は音響式か。

**(委員)**

細かい仕様は分からないが、一旦設置した後、必要に応じて改良することになる。

**(委員)**

市内の道路において、改良を要望すると府道であることが多い。整備の優先順位は私達市民には分からないので、ルールや計画、進捗を開示していただくことは可能か。

**(委員)**

基本的には、平成 32 年度中までに生活関連経路を改良する予定である。

具体的に危ない箇所等あれば、茨木土木事務所まで連絡いただければ、現場確認のうえ対応する。道路パトロールや歩道の点検（徒歩パトロール）も実施し、問題箇所は順次対応している。

府道は 1970 年の万博前後に整備し、50～60 年経ち、至るところで傷みが進んでいる。今後も悪い箇所があれば、小さいところでも対応していきたい。

**(委員)**

万博時に整備された道路は歩道もその時代にあったものが作られているのではないか。歩道が全体的

に凸凹、車両乗入口の傾斜等、バリアフリー法の研究の中でベビーカーユーザーからも同様の意見があった。郵便局前の交差点は協議会立ち上げ前から足の不自由な人は渡れないと要望している。優先順位をつけて対応いただきたい。

**(事務局)**

府道・市道関係なく今後もバリアフリーを進めていく。

**(委員)**

基本構想策定、JR 茨木駅改修工事、JR 総持寺駅整備にあたり、市や JR にご尽力いただいた点、感謝する。

**(委員)**

昨年ハンドル型車いすのバス乗車の取り扱いが困難だとマスコミに取り上げられていた。

各バス会社で乗車の指針はあるのか。

**(阪急バス株、近鉄バス株)**

車いすは認めているが、ハンドル型は大きさ・性能関係なく乗車は認めていない。

**(委員)**

今後、乗車可能となるよう検討いただきたい。

**(副会長)**

目標年度である平成 32 年は目の前に見えている。予算等限られた条件のもと、全ては対応できない中でどこに重点を置いていくのかを示すのが計画であり、特定事業計画にも皆様のご意見を入れていければと思っている。茨木郵便局前の交差点は難問だが、どうすれば解決できるのか、皆様と話をしながら解決していきたい。

**(会長)**

計画というものは少しずつ改善していくのが基本であり、バリアフリーについては特にそうである。

**(委員)**

先日、茨木市でまちづくり協議会を発足させ、デマンド交通など山間部の公共交通の検討を進めると

いう記事を拝見した。まちづくり協議会には障害者の参与も検討いただきたい。

**(事務局)**

記事には話した内容と相違があったが、山間部だけでなく坂道の多い丘陵部も含め、今後高齢化が進むにつれ、移動が困難になる方が増えると思われる。茨木市総合交通戦略の施策の1つに移動支援があるので、参考までにタクシーの業界の方と意見交換させていただきただけである。

福祉有償輸送との比較等含め、何が地域にとって良いのか、計画を練りながら考えていきたいと思う。

**(会長)**

全て予定通りではなく、課題もあると思う。厳しい意見もあったが、誰もが安心して暮らしていける街にしていきたい気持ちからだと思う。それぞれの方が計画を期間内にできるように、市民の皆様からのご協力を得ながら進めていただきたい。

**(3) 閉会**

以上